2023 年度　上武大学　大学院　経営管理研究科　シラバス

講義番号		授業科目名	制度会計特論 A	担当教員	安藤　鋭也		
		英語授業科目名	legal financial accounting A	単　位	2	学 期	前期
対象年次	１・２年次	ｸﾗｽ指定	なし	他との関連			
履修条件	会計学の基礎知識を有していることが望ましい。						
ﾃｰﾏ･副題	制度会計のあり方について。						
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	制度会計の現状を理解し、そのあり方を吟味する。 前期の特論 A では、財務諸表の認識・測定に係る理論と構想を理解する。 後期の特論 B では、近年の会計基準の動向を理解する。						
授 業 の 理解度の 到達目標	制度会計が抱える問題点や課題を把握し、自分なりの視点を持つことが目標である。						
授業ｷｰﾜｰﾄﾞ	社会規範、会計制度、会計基準。						
授業の内容	大学院の授業であることから、講義は最低限とし、双方向の議論を通して制度会計の理解に努める。						
授業の方法	原則として、受講者が順番に発表する形でテキストを輪読する。						
授業展開	1.　現代の企業会計(1)IFRS の浸透 2.　現代の企業会計(2)ROE を梃子とした資本生産性の向上 3.　企業会計の本質とフレームワーク(1)繊細で多様な事業の言語 4.　企業会計の本質とフレームワーク(2)収益費用観と資産負債観 5.　会計制度の論理と体系(1)会計の基礎知識 6.　会計制度の論理と体系(2)会計基準の意義 7.　企業のディスクロージャー(1)ディスクロージャー制度の革新 8.　企業のディスクロージャー(2)統合報告書にみる財務情報と非財務情報の関連性 9.　損益計算書のパラダイム(1)損益計算書の役割と基本フォーム 10. 損益計算書のパラダイム(2)実現主義の変遷 11. 経営パフォーマンスの測定と表示(1)損益計算書によるパフォーマンス評価 12. 経営パフォーマンスの測定と表示(2)キャッシュ・フロー計算書によるパフォーマンス評価 13. 貸借対照表のパラダイム(1)貸借対照表の基本フォーム 14. 貸借対照表のパラダイム(2)資産・負債の測定属性 15. 資産の会計(1)当座資産の会計						
成　　績 評価方法	授業への取組み姿勢（50%）、発表内容のレベル（50%）で評価する。						
成　　績 評価基準	総合点が 80 点以上を A、79～70 点を B、69～60 点を C、それ以下を D とする。 欠席が 1/3 以上の場合は E となる。						
テキスト	伊藤邦雄（2022)『新・現代会計入門（第 5 版)』日本経済新聞出版社。						
参考図書	適宜紹介する。						
準備学習に必要な時間又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	発表者は、①担当箇所を十分理解した上で発表に臨むこと、②所要部数のレジメを作成し事前に配布することが求められる。 出席者は、①テキストの予習・復習を欠かさないこと、②疑問点や問題意識を明確にして出席することが求められる。						
学生への ﾒｯｾｰｼﾞ	制度会計や関連する様々な事象に関心を抱くこと、授業に主体的・積極的に参加することを期待する。						
ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜２時限、木曜４時限。メールによる事前のアポイント取り付けが望ましい。						
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828　（内線：5511）	ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	andou@jobu.ac.jp online-andou@sc.jobu.ac.jp			
人数制限	特に定めない。						